

【出場校・上演開始時間】

11月12日（土）

開演	学校名	作品名
9時40分	広島県立 尾道商業高等学校 (尾三地区代表)	天使の声が聞こえたら
11時00分	広島市立 基町高等学校 (広島地区代表)	チェンジ・ザ・ワールド
12時20分	福山市立 福山高等学校 (福山地区代表)	Iの色
14時00分	広島県立 海田高等学校 (広島地区代表)	己を見つめ 他を敬い 共に歩む ～海田県女1期生のはなし～
15時20分	独立行政法人国立高等専門学校機構 呉工業高等専門学校 (呉地区代表)	さよなら3月 また来て昨日
16時40分	広島市立 広島商業高等学校 (広島地区代表)	C R A N E S
18時00分	広島県立 福山誠之館高等学校 (福山地区代表)	ジャンバラヤ

11月13日（日）

開演	学校名	作品名
9時40分	広島市立 沼田高等学校 (広島地区代表)	ささやくざわめくさえずる
11時00分	安田女子高等学校 (広島地区代表)	鬼の子
12時20分	近畿大学附属広島高等学校福山校 (福山地区代表)	河童奇譚
14時00分	ノートルダム清心高等学校 (広島地区代表)	化粧落し
15時20分	広島市立 広島中等教育学校 (広島地区代表)	時雨日和
16時40分	尾道学園 尾道中学校・高等学校 (尾三地区代表)	E N G I (イー・エヌ・ジー・アイ)

上演作品紹介

●11月12日（土曜）

<上演1> 天使の声が聞こえたら（尾道商業高等学校）（9時40分～）

自分の声が「近頃の人間には届かなくなった」と悩む天使。そこに悪魔が現れ、「天使や悪魔がちゃんと働けるフツウの世の中にしよう」ともちかける。二人はまず手始めにブラブラしていたマユを更生させようとするが、天使は相手にしてもらえず・・・。

今年は、部員が1年生のみという不安な状況の中での出演となります。他校に負けられないような心に残る演技をします。では、舞台の上で会いましょう！

<上演2> チェンジ・ザ・ワールド（基町高等学校）（11時00分～）

ちょっとだけ... ちょっとだけ... 世の中変えてみねえか... ?

<上演3> Iの色（福山中・高等学校）（12時20分～）

「誰にも見せない泪があった。人知れず流した泪があった。」（ゆず/「栄光の架橋」より抜粋）
すべての人は平等で、みんなそれぞれの美しい個性を持っている。差別や偏見なんて言語道断。ありのままを受け入れることは当然だ。

一だからそんな当たり前のことのできない私は、きっとおかしい。

<上演4>

己を見つめ 他を敬い 共に歩む ～海田県女1期生のはなし～（海田高等学校）（14時00分～）

海田高校は今年で創立80周年を迎えます。

第一期生の方の話と、50周年記念誌を参考に創作しました。

ちなみに、タイトルの「己を見つめ 他を敬い 共に歩む」は海田高校の校訓です。

海田高校の歴史を感じながら最後までお楽しみください。

<上演5> さよなら3月 また来て昨日（呉工業高等専門学校）（15時20分～）

卒業式だと言うけれど 何を卒業するのだろうか

（チェッカーズ「ギザギザハートの子守唄」より）

想いを伝えられない一条。自信が持てない後輩。留年が確定した不良。

未来と過去のつながりがそれぞれの運命を変えていく?!

<上演6> CRANES（広島商業高等学校）（16時40分～）

7月。日曜日の午後。生徒会室の窓からは、グラウンドを走る陸上部が見える。

「みんな、今日は日曜なのに集まってくれてありがとう」

これは彼らの、小さくて大きな、物語。

<上演7> ジャンバラヤ（福山誠之館高等学校）（18時00分～）

こんにちは、福山誠之館高校演劇部です！私たちが思うこの劇のテーマは「家族」です。「家族」ってどのような人を指すのでしょうか。何をもち「家族」なのでしょう。一概には言えませんが、私は長い期間文句を言い合える関係になるまで一緒にいた人を指すのだと思います。魂を込めて演じます。つくります。よろしくお願ひします！

●11月13日（日曜）

<上演8> ささやくざわめくさえずる（沼田高等学校）（9時40分～）

いろんな事情のある生徒たちが集まった「表現パフォーマンス」の授業に新聞記者の取材が入ることになった。生徒たちが自分の思いを明かしていく中、悩める男子ハルは亡くなった母のことを発表する。母についての問題を抱えているハルと悩みを表に出せないスズカ。そんな二人を救いたいナナホ。ハルは救われるのか、スズカは眠りから覚めるのか。

「言葉の力」で「心」を動かせ！

※作品中の使用スライドは、主に『HIROSHIMA 1958』掲載の写真を参考に水彩画風に改めたもので、発行元の株式会社インスクリプト様から使用許可をいただきました。

<上演9> 鬼の子（安田女子高等学校）（11時00分～）

今回、私たちとしては初めての創作脚本にチャレンジしました。わからないこともたくさんあり、何度もふりだしに戻りながらの劇作りになりました。部員同士で衝突したこともありましたが、約半年、たくさんの努力と試行錯誤をくり返しながらようやく作り上げた舞台なので、楽しんでいただけたら幸いです。私たちの精一杯をお届けいたします。

<上演10> 河童奇譚（近畿大学附属広島高等学校福山校）（12時20分～）

戦争で意図せず加害者の立場になってしまい、心に深い傷を負ったミオ。

避難民に紛れてニッポンへ…。

ミオが興味を持ったのは、ニッポンの妖怪・河童。

人間が不用意に近づくと悪さをしてくる、迷惑で不気味、でも、隣国のような身近な存在。

もしミオが、平和なニッポンで生まれていたら…。

理想と現実とは程遠い。それでも、こんな未来があったら…！

<上演11> 化粧落し（ノートルダム清心高等学校）（14時00分～）

終わりを告げた高校生活。変わってゆく関係。揺れ動き、悩む少女たち。それでも。

『うちら変わるはずなんだよ、普通。卒業したんだから』

『四人じゃないといっしょにいられないから。いっしょにいたいから、いてよ——』

<上演12> 時雨日和（広島中等教育学校）（15時20分～）

誰でもたった一言で世界と繋がることが出来るこの時代。友達のいない日和はさつきや天音と知り合い新しい扉を開くのだった。

<上演13> ENGI（イー・エヌ・ジー・アイ）（尾道中学校・高等学校）（16時40分～）

コロナ禍が続いている、日本のとある高校。色々な活動に制限のある中、それでも日常は続いていく。田坂と前田は幼なじみでいつも一緒。しかし文化祭のクラス出し物がきっかけで、その関係に綻びが…。

一方、森下と伊藤はクラス内の秀才グループ。派手な森下は、ちょっと引っ込み思案で口ベタな伊藤を従えている。田坂と森下の二人が、クラスの二大巨頭。今日も不毛な争いの火ぶたが切って落とされる。

この争いを未然に阻止するため、Electric brain Network Grand Information 計画が始動する。